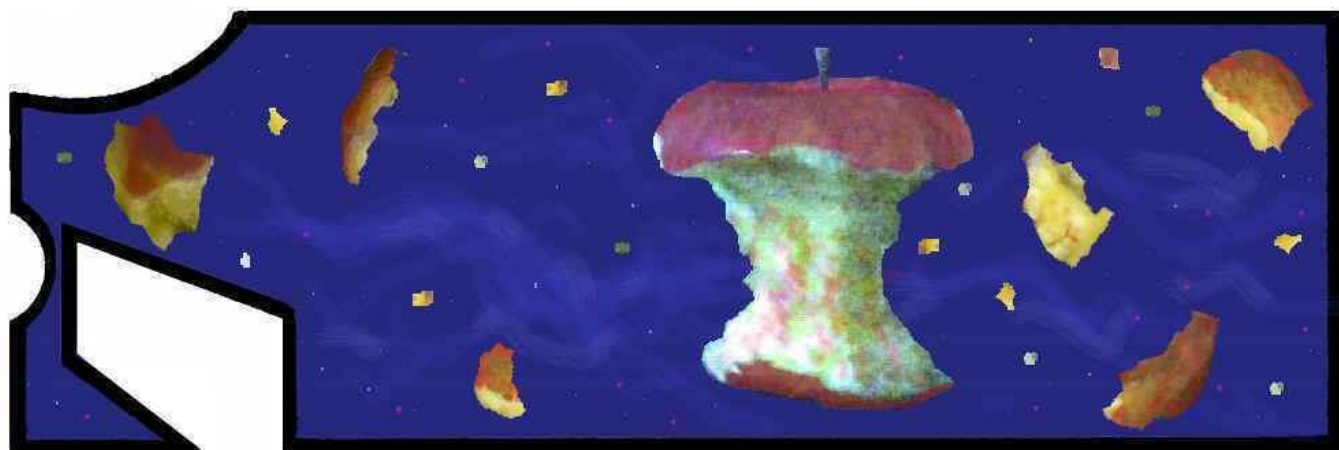
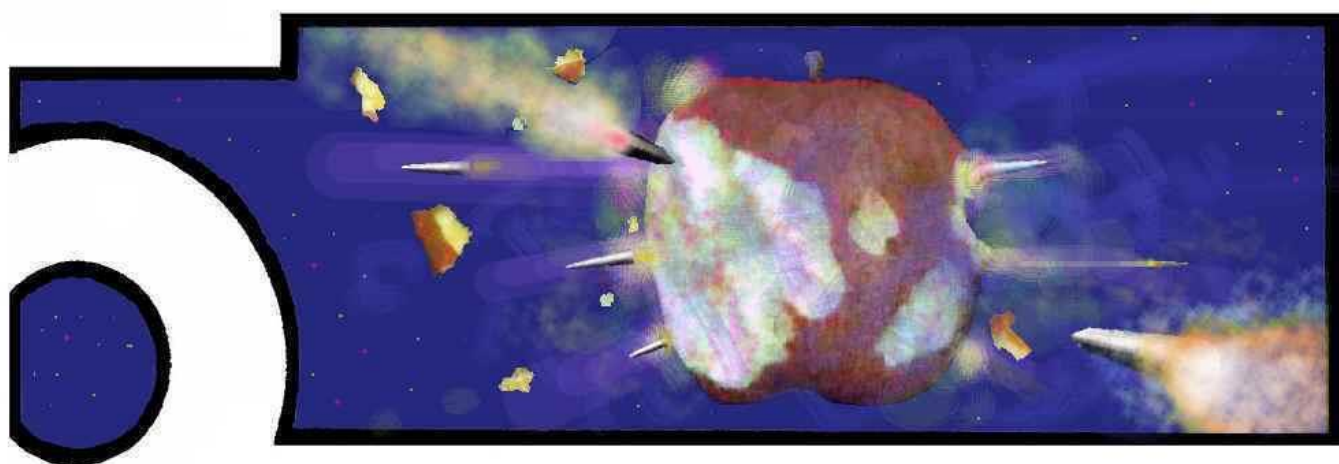
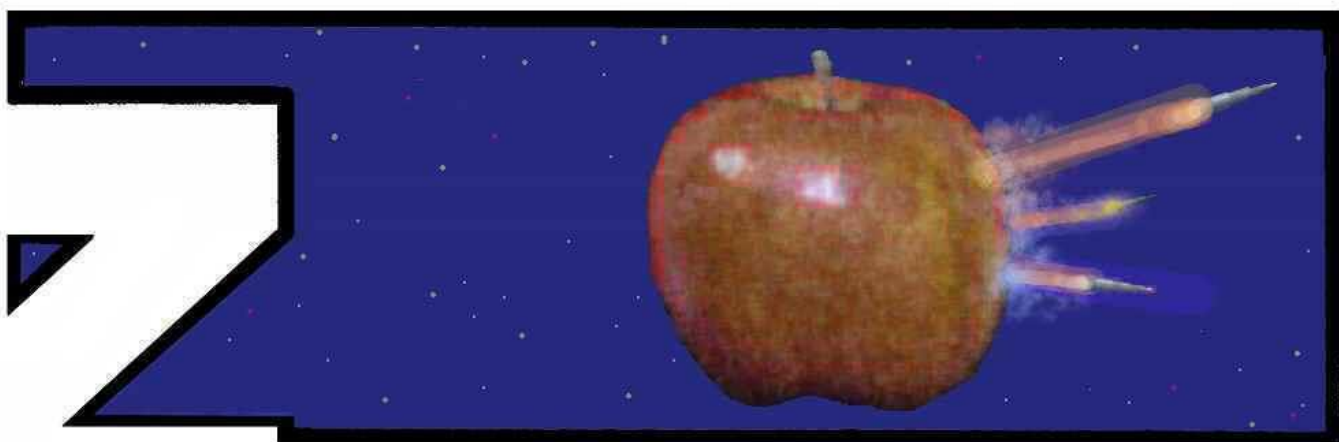


月刊
JMITU

テックカ

新型コロナ対応版



3月号

日本金属製造情報通信労働組合大田地域支部
セガ グループ分会 2022年発行

No.447

新人事制度変更について

3月15日セガより新人事制度についての説明がありました。

会社「今一部入っていますが、こういう思想で行っているということを変更して話します。新生セガにおけるグローバル市場へ挑む中で、われわれ社員ひとりひとりが挑戦・創造・成長といういいサイクルを重ねて行き、更に会社としても個人としても成長していこう。それを促せるような制度にしていこうと制度を変えている。具体的には昨年4月に、評価制度の方を先行して走らせています。

資格等級と報酬については4月より切り替えていく。等級については、それに先立って評価を回すところと連動はしている。」

今回制度変更になった部分 変更の狙い(課題)

実際には現行の給料をスライドしているの下がったりすることはないが、4年目くらいまでの若手社員の給与ステージが新入社員と同水準となり、モチベーションが低下する恐れがある。入社2年目3年目と今年の新入社員が同じステージかよと思われてしまう。

GP格のステージ細分化

新制度では標準的な評価だと2年に1度の昇給となり、特に評価に差がつきにくい若手社員の場合、成長実感を得られづらい懸念がある。

標準評価で2年分貯めないステージがあがらない、2年に一回しかあがらない。若い人は、千円、2千円でも上がり、

1年間の評価と実績が報われると言う形のほうが挑戦・創造・成長という実感を得る。

もう少し昇給という機会が多い方がいいのではという事で、下位ステージを4ステージから8ステージに細分化し、従来であれば標準評価2年で1万円上がるところが、標準評価1年で5千円上がるようになる。

GP格の基本給特殊対応

若手社員給料の問題や初任給についても会社としては考えていて全ての人のベースアップではないですが、GP格の基本給の調整を、入社年次に応じて基本給を増額し、それに応じて制度移行時のポイントを付与する。これにより若手社員の給料が接近しすぎる点を解消する。

セカンドチャレンジ制度

ネクストキャリア、セカンドチャレンジ制度2つありましたが、セカンドチャレンジに一本化し、40歳以下の適用を廃止する。15年前に導入したもので会社の人員構成、平均年齢もあがり、40歳以下の人材確保が厳しくなっている状態で、あえて早期退職を支援する制度は会社として必要ない。3月末で規則変更を行う。

ステージ評価適正化

今回ステージという形で給与がかなり可視化されている。今まで評価給レンジのどの部分にいるかは本人と上司がいしか分からなかった。今後自分で公開しなければ分からないが、ステージで可視化されることにより、今回の仮格付け

春闘・夏季一時金 要求回答

一年行っている中で、実際の今の業務役割に対してもう少し給料を上げたいというニーズがいろんな現場であります。特に開発職に多いですがマーケットのバリューとかの兼ね合いもあり、これぐらいのスキルを持つていたら、市場価値はもつとあるのでステージ表現したらもつと上だということが可視化されたことでニーズが顕在化しているのでステージ適正化という作業を下期、通期年間評価の中で行う。制度変更ではない。

確かに若手社員、G P格については、賃金の底上げがされています。しかし、会社の説明を聞いてみるとおかしなところもあります。「若い人は、毎年小額でも給料が上がり、1年間の評価と実績が報われると言う形のほうが実感を得る。」といっています。こちらには若くなくとも毎年給料が上がる方が実感を得ます。

セガより春闘・夏季一時金に対する回答がありました。組合「バンダイナムコでは新入社員の初任給が月額29万円になり、全社員の月額給与も底上げすると言うことだが、同じエンタメ業界としてセガはどうなのか？ 私達の要求5万円賃上げをバンダイナムコは行えている。」

送ります。別途説明した新人事制度の下で通常の昇給評価とそれに加えて、G P格の底上げ、ステージの適正化この2つは今回限りの施策、これを合わせると一般層で昇給率は平均3%を超えている。世の中のにも、政府的にも3%をとっていますので、それは超えている。通常の昇給は1.7%金額平均5798円で、その他1.4%は施策により上がる。会社としてはかなり持ち出ししている。

下げる方はないので、足りない人に付与できるポイントを付与する。全体の報酬水準の底上げにもなる。

今回功序列として導入した制度ですが、入社年度によって階段上にする為、手当てで調整するとう。この新人事制度の失敗は明白です。

今回の変更で会社は、減らしている部分はない、全て増える方向のものだという事です。

説明会を開催するそうです。

分らない。」
会社「賞与については最終調整中今月中には回答します。
昇給の方は、ベースアップは見

ても全員がもらえるわけではなく、一部の対象者のみ、資格の上限に達している人はゼロの可能性もあります。物価も上がり、生活費も上がっています。従業員のことを考えるのであれば、一部の対象者だけでなく全員が3%上がる施策を考えて欲しいです。

掌編小説

記憶と想像力と

仙洞田一彦

およそひと月前は、テレビをつけるコロナの報道ばかりだった。新規感染者、重症者、死者の数。感染症の専門家、教授が登場していた。

二月二十四日、ロシアのウクライナへの侵略が始まったら、ミサイルの爆発や廃墟と化した街並み、避難する人々が連日テレビに写し出されるようになった。テレビの解説者は医師ではなく、戦争の専門家に置き換わった。

戦後の生まれで、さいわいこの歳まで戦火を経験することとはなかった。しかし、クラスには戦災孤児だと言われている友達があった。私の生まれ

たその年の夏までは各地で空襲があったので、同級生にいても不思議ではなかった。でも本人は自分が戦災孤児だとは言わない。親たちの会話から、その友達が孤児院から小学校に通っていると聞いたからだった。その建物のどこにも「孤児院」の文字はない。書いてあれば、子どもだってそのくらの字は読むことができる。

その友達は強かった。喧嘩が強いというのとは違う。話をしているだけでも、強いという印象だった。私のように何かあれば頼ることのできる親がいると、強い必要がないかも知れない。強くなければ生きていけないのだろう。後年そう思った。その強さの内には、両親を失った大きい悲

しみがあるのかも知れない。「戦後生まれでも、胎内被爆」というのがある」

戦後生まれだといっても、戦火で傷を負わないということとはないということだ。たしかにそうだ。その年の終わりの生まれでも、八月からは五月月しか経っていない。この世に生まれ出ていなくても、母親の胎内で傷を負うことだってあるのだ。

上のクラスには、顔前面、火傷の痕が残っている女子もいた。空襲下、母親に負ぶさって逃げていた時、母親に焼夷弾が直撃したらしい。その人は孤児かどうか分からないが、母親は即死だったという。私はその上級生の女子に、「お化け」と、言った。

そばにいた上級生の男子に、私は思いっきり叱られた。従兄には父親が戦死したという人もいた。

こうして記憶を探っていくと、身近な人だけでも七十六年前の戦争で肉親を失った人が浮かんできてくる。一緒に様々なことが思い出される。それはわたし自身にとっても同じこと。

ウクライナですでに、多くの死者も負傷者も出ている。それは残された人々も、本人も、その後の人生の大きな重荷になることは間違いない。戦後まもなく引越した私の家の前は学校だったが、この校庭には小さな家がいっぱい並んでいた。区画整理され、並木道のある住宅街とは違う。空襲で焼け出された人

達が住んでいた。当時バラックと呼んでいたが、焼け残った廃材を組み合わせて作ったものだった。大工が作ったわけではない。板の間といっても、床は平らではない。屋根だって大人の頭よりちよつと高いくらい。そして雨露しめればよしであり、雨漏りもする。

何年か後には一軒もなくなくなり、野球もサッカーもできる校庭になった。住んでいた人たちが、空襲の前に住んでいたところに新しい家を建てて戻ることができたわけではないだろう。

ウクライナの街のアパートというか、マンションというか知らないが、それらが焼けたり、崩れたりしている映像を見る。どこかの地下に避難

しているという報道もある。

すぐにでも戦争を終わらせることが必要だが、仮に以前住んでいた人たちが、すぐに戻れたとしても、映像からはすぐに元のような生活ができるとは考えられない。建物は建て直さなければならぬし、家具だってなんだって揃えなければ生活できない。でもそれは物だけの話だが、物だけだつて元に戻るのは大変だろう。

幼い頃私が見たバラックに住んでいた人たちのその後の生活、人生はどうだったのだろうか。幸せだったのだろうか。周りのみんなが幸せで自分だけが不幸というのは絶えられないが、みんな同じように不幸だと耐えられものだと聞いたことがあるが、でもそ

れでいいということはないだろうと思う。

ロシアの侵略で、難民となつて隣国に避難する人々の列が映像となつて流されている。

私の親戚には、「満州」から引き揚げてきた経験を持つ人はいないようだ。「満州」からの引き揚げ者の苦難は本で読んだ。幸い日本の地を踏むことができて苦難は続いたという。「満州」からソ連に連れて行かれ、ソ連に抑留されていたという人の話は聞いたことがある。

「飢えた人間がガツガツ食うというのは嘘だ。スプーンひとすくい、ひとすくい、ゆっくり食べるものだ」

と、言っていた。戦火には「飢え」もともなう。ウクライナから逃げる人達

は、侵略されて難民となつてしまった人達だ。日本人の場合には侵略先「満州」からの「難民」だ。日本の侵略が、自らの不幸を招いた。

侵略戦争は侵略者の敗北が終わりの形かもしれない。ウクライナの戦争は侵略者ロシアの敗北で終わるのかもしれない。

自分が絶対者となり宮殿に住む姿は想像できるかもしれないが、他の人々にどのような惨事を起こすかは想像できない愚かな人間が、昨日まで人々の生活があつた廃墟を見ても何も感じない人間が、もしかすると人類絶滅のボタンを押すかもしれない。日本の戦争も広島、長崎の原爆で終わった……。